



説教要旨「あなたは祈られている」

ルカによる福音書 22章31～34節

イエス様はシモン・ペトロに向けて語りかけました。それは、『サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた』（31節）ということでした。この後、イエス様が捕えられ、十字架につけられ、弟子たちの身にも危険が及ぶ中で、弟子たちの信仰は試され、ふるいにかけることとなります。その結果、弟子たちは皆逃げ去り、大きな挫折を味わうことになるのです。

自分がイエス様を裏切るといふこの言葉を受け入れることができず、『主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております』（33節）と反論するペトロに、イエス様はさらに追い打ちをかけます。「ペトロ、言うておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう」（34節）。しかし、ペトロの裏切り、ペトロの挫折を予告するこの言葉は、彼を断罪しようとしたものではありません。「わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った」（32節）というみ言葉がそれを示しています。ペトロの信仰が無くならないように、彼がその挫折においてもなお、信仰者でありつづけられるよう、イエス様は祈っておられるのです。そして挫折から立ち直ったペトロが、ほかの兄弟たち、他の弟子たちを力づけ、励ますように命じられたのです。

挫折を味わう前のペトロのように、自分の信念や強い覚悟によって歩もうとするとき、サタンのふるいはいともたやすく信仰者をふるい落とし、弱さや罪を露呈させるのです。しかし、その挫折のなかでこそ、“わたし”のために祈ってくださっている主の思いに目が開かれるのです。

自分の信念や覚悟によるのではない、イエス様が成し遂げてくださった救い、罪の赦しの恵みによって生かされているという信仰へと、主は招いてくださっています。イエス様の十字架上の死は、イエス様の祈りの現れです。このイエス・キリストの祈りによって私たちは、自分の弱さに打ちひしがれ、挫折するときにあっても、力づけられ、再び立ち上がることができるのです。